本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

Baby-G

1565·1965-BG*JA
USER'S GUIDE

CASIO

- Shock resistant construction
- EL backlighting
- 20 pages of Telememo (2 numbers for each)
- 5 Appointment alarms
- Hourly time signal
- 1/100sec. stopwatch
- Full auto calendar

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないで下さい。
※本機はダイバーズウオッチではありません。
誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて
本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

かぶれについて
時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等
●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
●「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
●万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて
ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください
本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控えを作ってください
記憶させた内容は、ノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



操作のしくみと表示の見方　〈Ⓒボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。〉

※表示は機種により異なる場合があります。

時刻モード

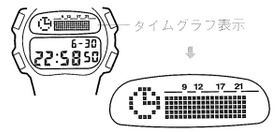


★曜日の見方

SUN-日
MON-月
TUE-火
WED-水
THU-木
FRI-金
SAT-土

★12/24時間制表示切替
Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示（午前A／午後P）と24時間制表示とが切り替わります。

※24時間制表示にすると"G"マーク・曜日表示がタイムグラフ表示に切り替わります。(タイムグラフは現在時刻の「時」をグラフ化したもので、AM5：00～翌日のAM1：00までを表示します。)



テレメモモード



アポイントメントアラームモード



ストップウオッチモード



■デモ機能について
本機は工場出荷時に、本機の表示を自動的に見せる「デモ（デモンストレーション）機能」に設定してあります。デモ表示では通常のボタン操作はできません。

●デモ機能の解除…Ⓒボタンを約2～3秒間押すと、デモ機能が解除されます。
●デモ機能にするには…解除時と同様にⒸボタンを約2～3秒間押し続けます。

ライト点灯について

時刻モードのときに、Ⓛボタンを１回押すと約３秒間文字板が発光します。（このとき文字板の発光と同時にアニメ表示が動きます。）



＜ご注意＞
●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中断します。

＜MEMO＞
アニメ表示はボタンを押すタイミングで内容が変わります（３種類６パターン）。また、基本時計セットのときに、お好きな表示を選ぶことができます。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に１度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

●秒の合わせ方

(1) 時刻モードのとき、Ⓑボタンを約2秒間押します
→「秒」が点滅します。

(2) 時報に合わせてⒶボタンを押します
→「00秒」からスタートします。



★秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分繰り上がって「00秒」になります。
（時報は「時報サービス117番」が便利です。）

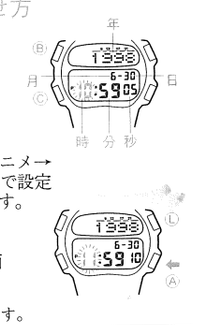
(3) Ⓑボタンを押します
→秒の点滅が止まり、セット完了です。

●時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、Ⓑボタンを約2秒間押します
→「秒」が点滅します。

(2) Ⓒボタンを押します
→「秒→時→分→年→月→日→アニメ→秒…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所をⒸボタンで選びます。

(3) Ⓐボタンを押します
→Ⓐボタンを押すごとに、点滅箇所の数字が1つずつ進みます。
※Ⓛボタンを押すと戻ります。
※いずれも押し続けると早送りします。



上記(2)～(3)の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

★ライト点灯のとき表示されるアニメは３種類あり、Ⓐ・Ⓛボタンでお好きな表示を選ぶことができます。("ALL" を選ぶと、３種類６パターンのアニメの中から毎回ランダムに１つ表示されます。)

(4) セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押します
→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2～3分間すると自動的に点滅が止まります。

★「時」の午前（A）／午後（P）にご注意ください。
★「年」は、1995～2039年までセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

テレメモの使い方 →時刻モードのときに、Ⓒボタンを1回押してテレメモモードにします。

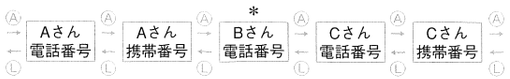
テレメモは１件（名前８桁）につき、電話番号と携帯またはポケベル番号の２つ（各数字12桁）を最大20件までメモリーできます。テレメモモードに切り替えた直後は、残りメモリー件数を表示後、前回テレメモモードで最後に見た内容を表示します。

●テレメモデータを探す



テレメモモードのとき、Ⓐボタンを押します。

→Ⓐボタンを押すごとに、テレメモデータが順番に表示されます。
※Ⓛボタンを押すと戻ります。
※いずれも押し続けると早送りします。



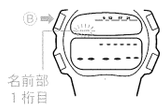
*番号を１つしかセットしなかった場合は１つのみ表示しますが、最大メモリー件数(20件)は変わりません。

●データ入力（修正）のしかた



(1) ⒶまたはⓁボタンを押して、空きページまたは修正したいページを表示します

※データが20件分セットされているときは、"FULL"と表示されますので、不要なデータを消去してください。(「●消去のしかた」参照)



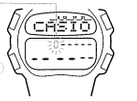
(2) Ⓑボタンを約2秒間押します

→名前部の１桁目が点滅します。



(3) Ⓐボタンを押します

→Ⓐボタンを押すごとに、点滅箇所の文字が１つずつ進みます。
※Ⓛボタンを押すと戻ります。
※いずれも押し続けると早送りします。



(4) Ⓒボタンを押します

→「名前部１桁目～８桁目→電話番号１桁目～12桁目→携帯番号１桁目～12桁目→名前部１桁目…」の順で点滅が動きます。点滅箇所がセット可能です。

上記(3)～(4)の操作を繰り返し行ない名前、電話番号、携帯（ポケベル）番号を入力（修正）します。

★入力できる文字順は、名前部セットのときは（スペース）、A～Z、0～9、-、.の順で、電話番号および携帯番号セットのときは、-、0～9、（スペース）の順序となります。

(5) すべての入力が終わりましたら、Ⓑボタンを押します

→並べ替え（自動ソート）が行なわれ、セット完了です。
※点滅表示のまま２～３分間すると自動的に点滅が止まります。

★自動ソート…（スペース）、A～Z、0～9、-、.の順で、入力したデータが自動的に整理されます。
★名前部の入力できる文字数は8桁ですが、6桁以上入力した場合は、表示が右から左に順に送られて表示します。

●消去のしかた

(1) ⒶまたはⓁボタンを押して、消したいページを表示します

(2) Ⓑボタンを約2秒間押します

→名前部の１桁目が点滅します。



(3) ⒶボタンとⓁボタンを同時に押します

→ "CLEAR" と表示され、データが１件消去されます。
※消去後は空きページとなり、新たにセットできます。

(4) Ⓑボタンを押して、点滅を止めます

アポイントメントアラームの使い方 →時刻モードのときに、Ⓒボタンを２回押してアポイントメントアラームモードにします。

アラームは５つあり、分単位で時・分・月・日・曜日・アポイントメントマークがセットできます。
セット時刻の１時間前になると予告音が１秒間鳴り、セット時刻になると20秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

●アラーム時刻の設定



(1)アポイントメントアラームモードのとき、

Ⓐボタンを押して、アラーム番号１～５のいずれかを表示させます

※５つのアラームはいずれも同じ使い方です。

(2) Ⓑボタンを約2秒間押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。
※ " " が点灯し、アラームONとなります。



(3) Ⓒボタンを押します

→「時→分→月→日→曜日→アポイントメントマーク→時…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所をⒸボタンで選びます。

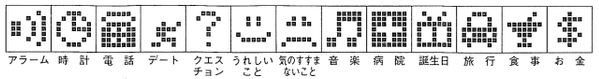


(4) Ⓐボタンを押します

→Ⓐボタンを押すごとに、点滅箇所の数字が1つずつ進みます。
※Ⓛボタンを押すと戻ります。
※いずれも押し続けると早送りします。

上記(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

★アポイントメントマークは絵表示、アルファベット、数字を入力でき、 Ⓐ・Ⓛボタンでお好きな表示を選ぶことができます。



(5) セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま２～３分間ボタン操作を行なわないと自動的に点滅が止まります。

★「時」の午前（A）／午後（P）にご注意ください。基本時刻が24時間制のときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。
★「時・分」に加え、「月・日・曜日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。なお、セット内容によっては、数年間アラームが鳴らない場合がありますのでご注意ください。

毎日鳴らす……「時・分」のみセット
1ケ月間、毎日鳴らす ……「時・分・月」のみセット
毎月同じ日に鳴らす……「時・分・日」のみセット
毎週同じ曜日に鳴らす……「時・分・曜日」のみセット
指定月日に鳴らす……「時・分・月・日」のみセット
1ケ月間、同じ曜日に鳴らす ……「時・分・月・曜日」のみセット
指定日の指定曜日に鳴らす……「時・分・日・曜日」のみセット
指定月日の指定曜日に鳴らす……「時・分・月・日・曜日」全てセット

●アラーム・時報のON／OFF設定

(1)アポイントメントアラームモードのとき、

Ⓐボタンを押して、アラーム番号1～5または時報"SIG"を表示させます

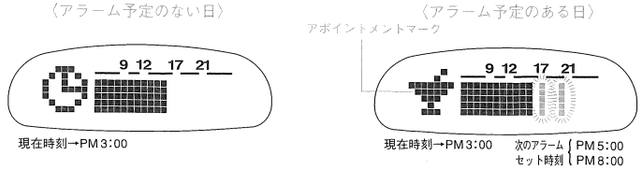
(2) Ⓛボタンを押します



→Ⓛボタンを押すごとにアラーム表示のときは " " が、時報表示のときは " " が点灯／不点灯を繰り返します。
※マークが点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。

●アラーム予定を確認するには

アラームセット当日のAM2：00になると、時刻モードでタイムグラフ表示のセット時刻部分が点滅して予定があることを知らせてくれます。
※アラームセット時刻がAM2：00～AM4：59のときは、アポイントメントマークによる予告表示はありますがタイムグラフ表示はありません。



●アラームの鳴り方

セット時刻の１時間前になると…予告音が１秒間鳴り、60分タイマーがスタートします。(アポイントメントタイマー)



※アポイントメントタイマーがスタートすると、自動的に"G"マーク・曜日表示からタイムグラフ表示に、12時間制表示から24時間制表示に切り替わります。

セット時刻になると…電子音が20秒間鳴ります。

●アラーム音を試しに聞く（デモアラーム）

アポイントメントアラームモードのとき、Ⓐボタンを約１～２秒間押し続けます。
→押し続けている間、アラーム音が鳴ります。
※時報表示のときにⒶボタンを１～２秒間押し続けると、時報音が鳴ります。

●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

ストップウオッチの使い方 →時刻モードのときに、Ⓒボタンを3回押してストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。(計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。)

●計測のしかた

Ⓐボタンを押します

→ストップウオッチモードのときに、Ⓐボタンを押すと計測を開始します。



★計測中にⒶボタンを押すと、計測が止まります。もう一度Ⓐボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)
★計測中にⓁボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(SPL点灯)

※計測値を０に戻す（リセット）には、計測終了後Ⓛボタンを押します。

★通常計測
Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓛ リセット

★スプリットタイム（途中経過時間）の計測
Ⓐ スタート → Ⓛ スプリット → Ⓛ スプリット解除 → Ⓐ ストップ → Ⓛ リセット

★1・2着同時計測
Ⓐ スタート → Ⓛ 1着ゴール (1着タイム表示) → Ⓐ 2着ゴール → Ⓛ 2着タイム表示 → Ⓛ リセット

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
表 示 方 式：FE型液晶デジタル表示
基 本 機 能：月・日・曜日、時・分・秒、午前A／午後P／24時間制表示
　フルオートカレンダー（1995～2039年）
テレメモ機能：1件につき2つの番号を最大20件までメモリー（名前部8桁、電話番号部12桁、携帯番号部12桁）、自動ソート機能
アラーム機能：時刻アラーム5つ　セット単位＝分　セット時刻1時間前＝電子音1秒間
　セット時刻＝電子音20秒間
　時報　毎正時に電子音で報時
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
　計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
そ の 他：自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、
　EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト点灯
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使用電池：CR-1616（電池別途販売）
電池寿命：約2年
　(電子音20秒間／日、ライト3秒間／日、およびアポイントメントタイマー１回／日使用した場合)
　※ただし、ELバックライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
　●1日当たりELバックライト3秒間を3回使用：約15ケ月
　●1日当たりELバックライト3秒間を6回使用：約10ケ月

ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気 ●磁気の影響はありません。

薬品類 ●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

お手入れについて

お手入れのしかた ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると ●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
●「かぶれ」
・皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
・特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
・長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
・長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
・長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
・プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約７年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。